

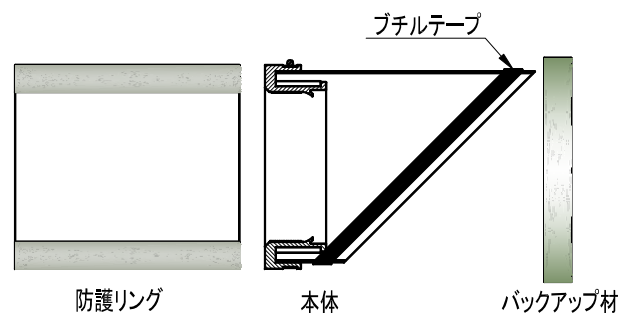
スパーサージョイントDR ベンドサイフォン用 (Vタイプ) 施工手順

株式会社 **サンリツ**

TEL (076) 462-9325

- ＜製品の内容＞ ①製品(本体ゴムと鋼製管のセット) ②バックアップ材 ③エポキシ系接着剤(ケーシング立坑のみ)
④防護リング ⑤打込み補助具

- ＜用意していただくもの＞ 1.止水(急結)モルタル 2.セットハンマー
3.滑剤 4.ゴム手袋 5.ウエス



- 削孔径が、ハツリ等で標準より大きくなる場合は、添付の接着剤が足りなくなりますので、エポキシ系の接着剤を用意してください。(エポキシ系であれば、どのメーカー品と併用しても問題はありません。ただし、添付の接着剤と混ぜ合わせての使用はしないでください)
- 本体の取付け前に削孔径を確認して製品が入ることを確認してください。
- 接着受口カラーには使用できません。
- 必ず止水モルタルを使用してください。※商品例：ライオンシスイ(住友大阪セメント(株))、エレホン#300(エレホン化成工業(株))等

●製品をばらしたり、ステンレスバンドをゆるめたりしないでください。

ケーシング立坑の場合

<p>マンホール マンホール内側 本管</p>	<p>マンホール マンホール内側 防護リング 本管</p>	<p>マンホール マンホール内側 SJ DR V 本体 防護リング 本管</p>	<p>マンホール マンホール内側 エポキシ樹脂系接着剤 目地 バックアップ材 本管 止水モルタル DR V 鋼製管</p>
<p>① 本管位置を決めた後、本管の面取りを行い、削孔面と本管を清掃します。 ※面取りが少ないと本体が入りにくくなります。</p>	<p>② 防護リングを本管に挿入します。その後、滑剤を本体ゴムの管口、本管に十分に塗布し、プチルテープの離型紙をはがします。</p>	<p>③ 本体を本管へ押し込みます。入りにくい場合は打込み補助具を管口リング部にあてハンマーで叩き込んでください。 ※図-2 参照</p>	<p>④ 鋼製管と削孔面との間に、止水モルタル・エポキシ系接着剤の順で充填し、バックアップ材を挿入します。その後、マンホール内径に合わせ本管を切断し、目地仕上げを行います。 ※設計に応じて防護コンクリートを打設してください。</p>

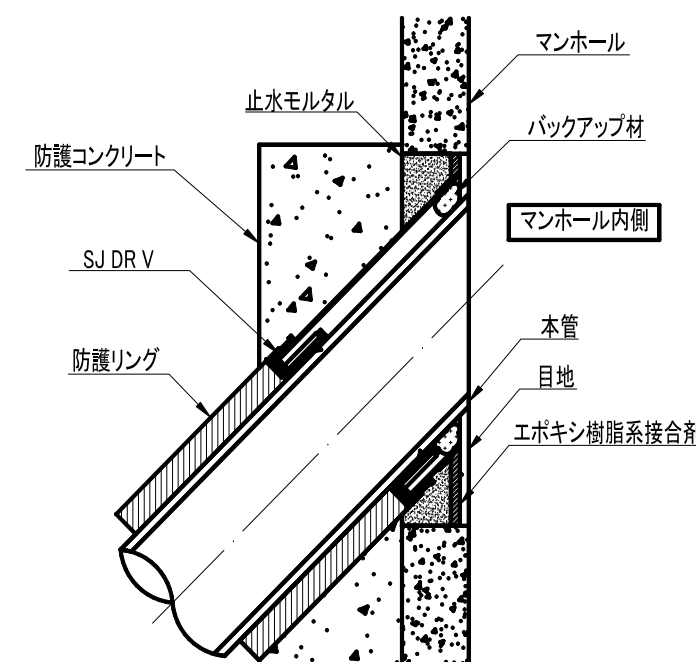
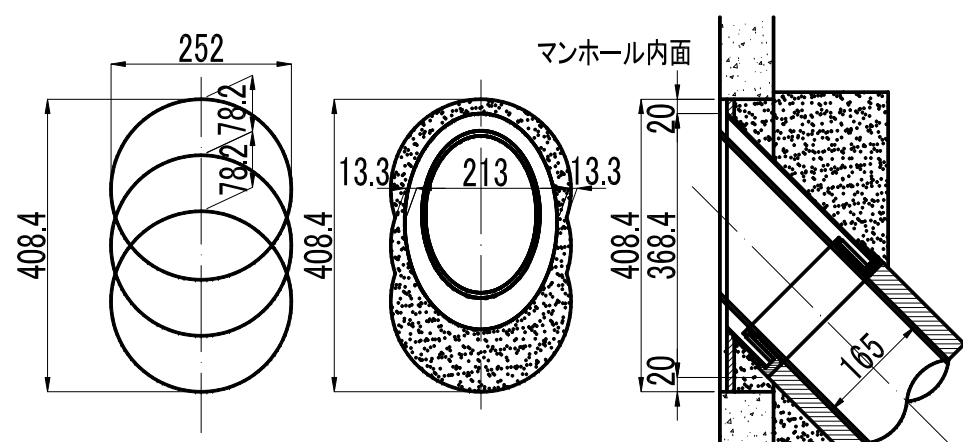


図-1 取付断面図

V150用削孔例(45° の場合)



V200用削孔例(45° の場合)

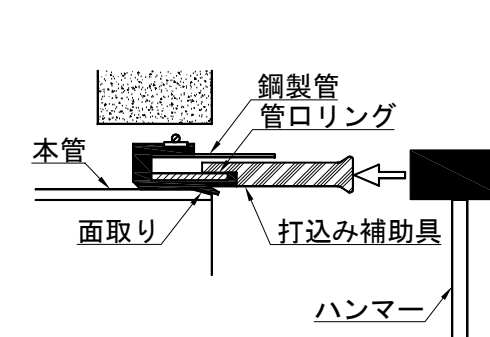
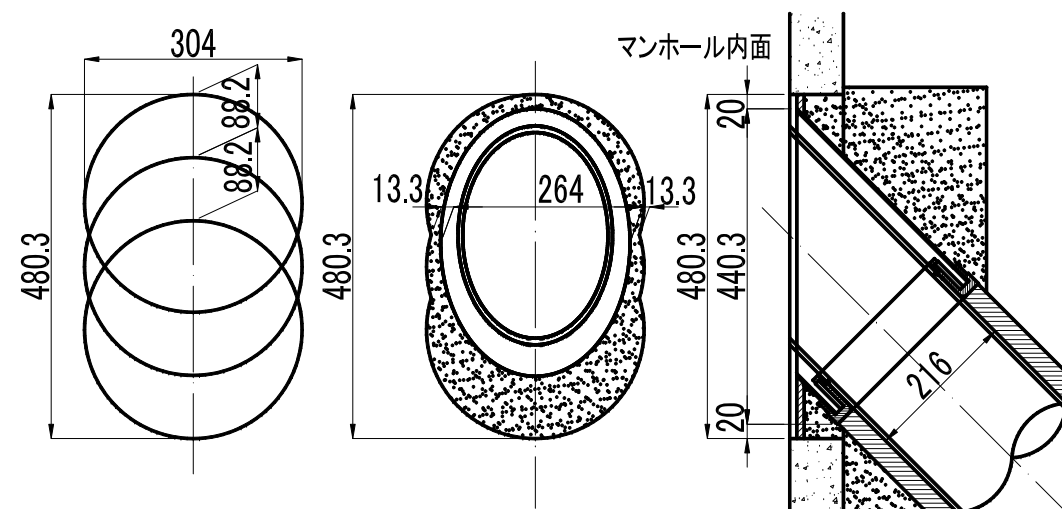


図-2